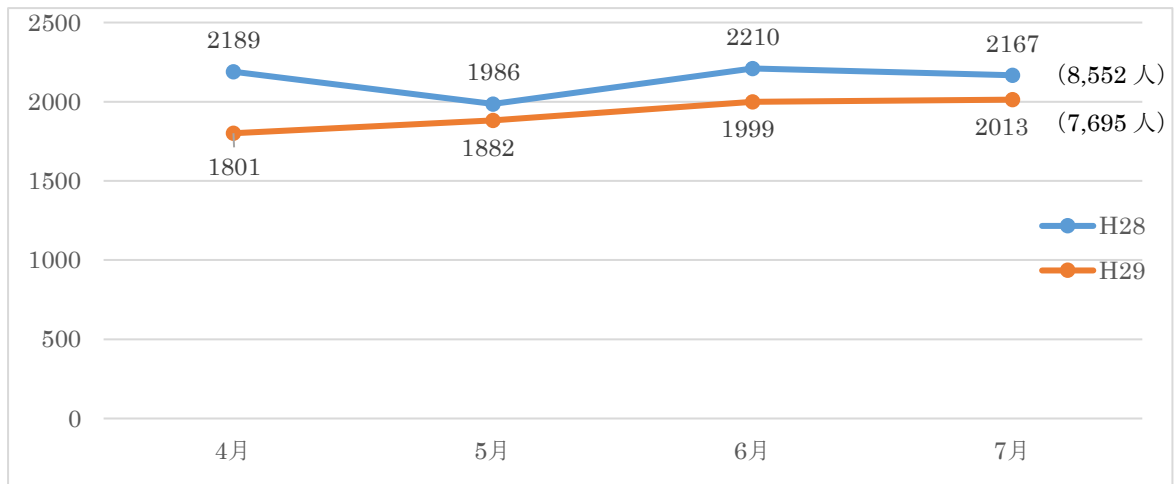


デマンドバス「おでかけ号」利用状況（4～7月）

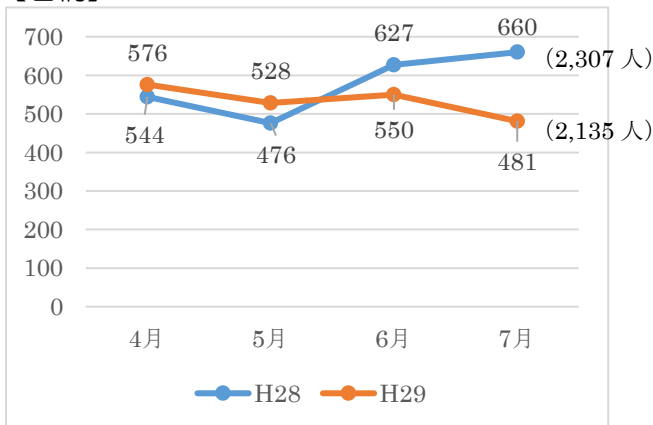
資料2-1

【月別利用者数比較】

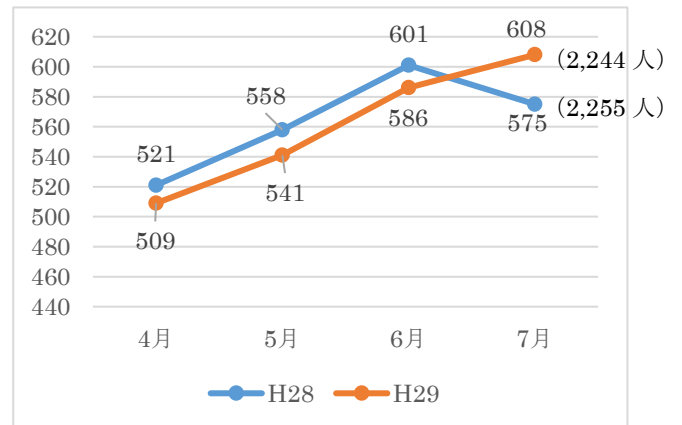


【エリア別利用者数比較】

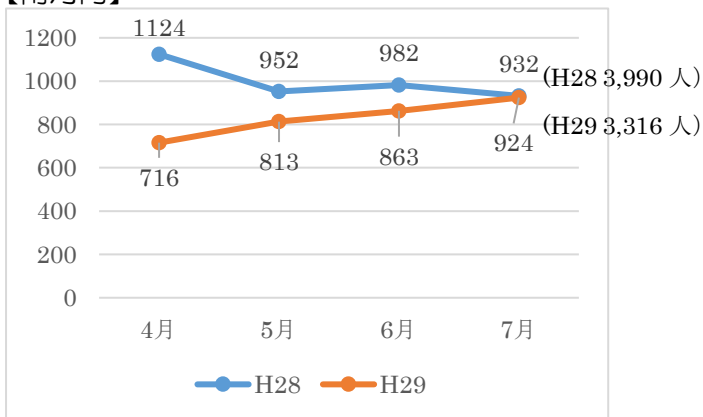
【石橋】



【国分寺】

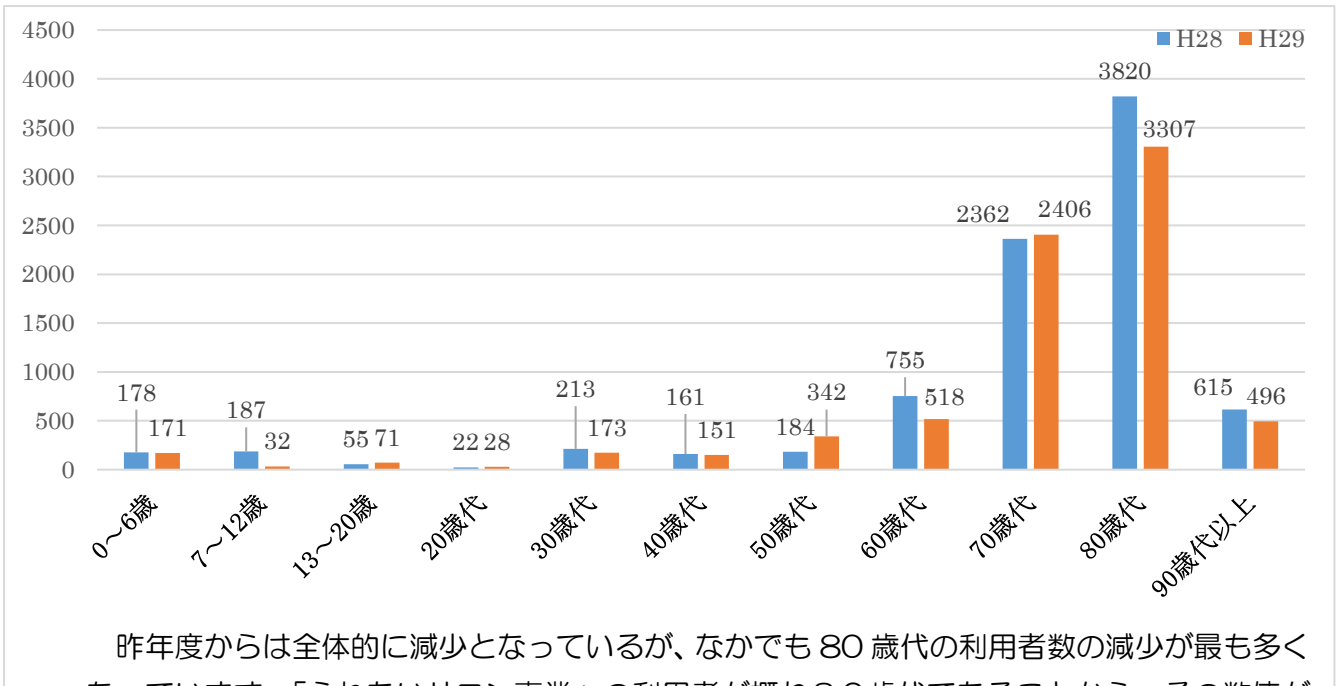


【南河内】



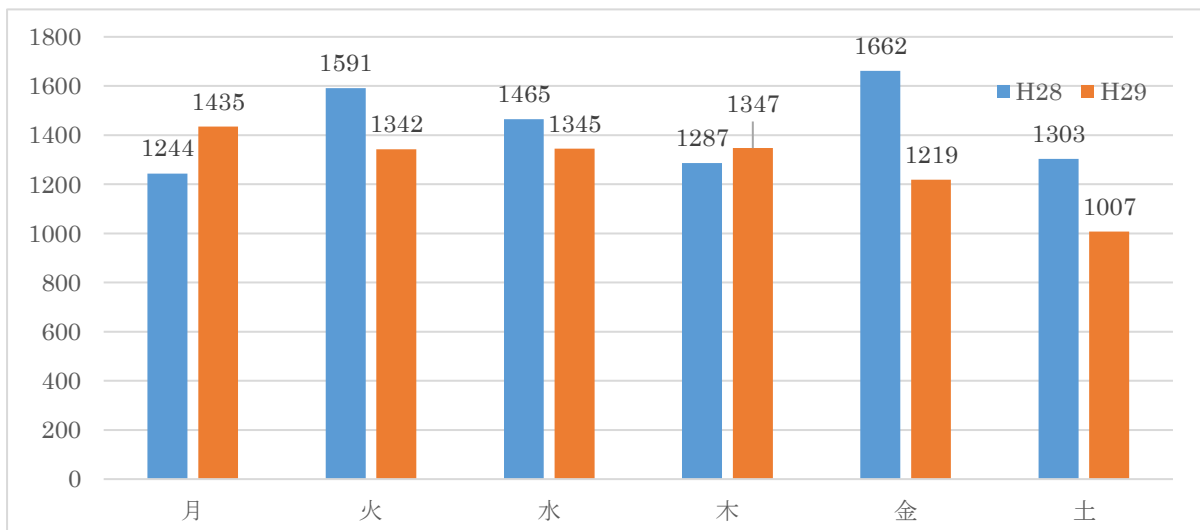
利用者の変動で最も差が出ているのは、南河内エリアで、これは高齢福祉課事業の「ふれあいサロン事業」で、今まで火曜日・金曜日に利用していたものが、今年4月から事業の中でバスの送迎を行うようになったため、一時的に利用者が減っていたものだが、徐々に回復傾向となっています。

【年齢別利用者数状況】



昨年度からは全体的に減少となっているが、なかでも80歳代の利用者数の減少が最も多くなっています。「ふれあいサロン事業」の利用者が概ね80歳代であることから、その数値が反映されているものと考えられます。

【曜日別利用者数状況】

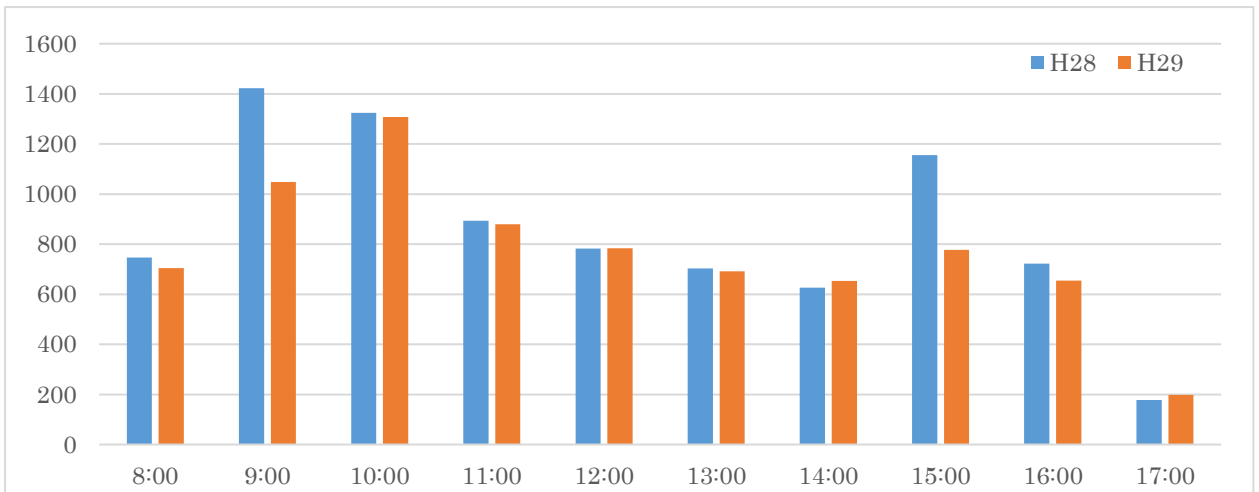


【曜日別の1日平均利用者数】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
平成28年度	78	99	92	80	98	72
平成29年度	84	79	84	84	76	59

これまでの傾向では、一週間のうち土曜日及び日曜日に利用する人が少なく、平成27年度の計画見直しにおいては運行を月曜日から土曜日としたが、土曜日・日曜日は家族が休み等のため、送り迎え及び一緒にでかけるなどで利用が少ないことが考えられ、土曜日に利用する人は年々減少しています。

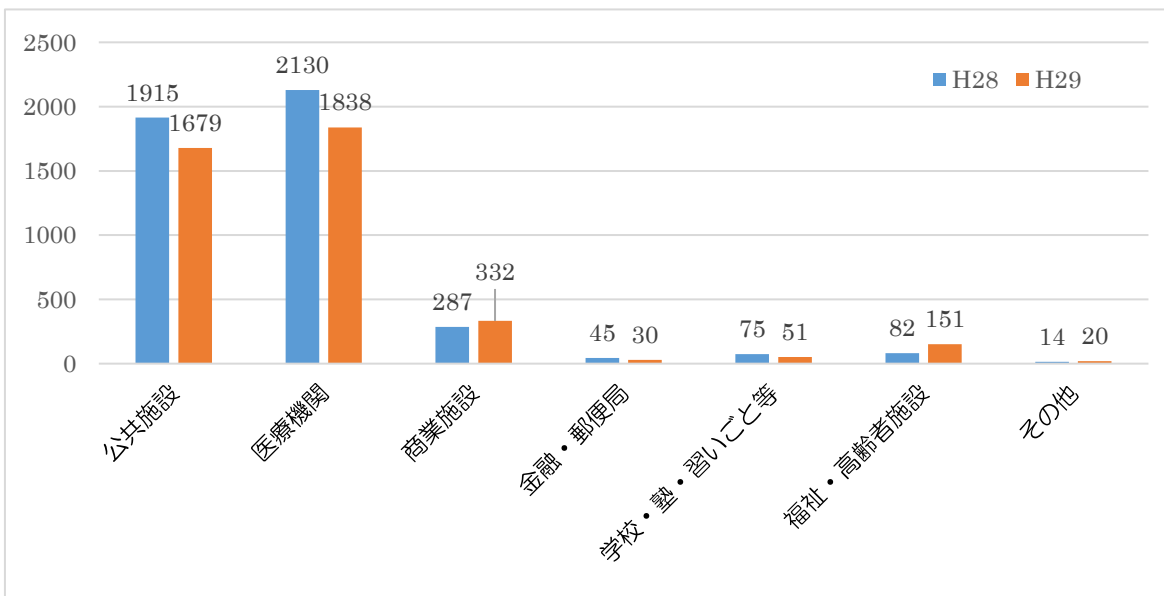
【時間帯別利用者数状況】



	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	計
H28	746	1,422	1,324	893	782	703	626	1,156	722	178	8,552
H29	704	1,048	1,307	880	783	691	653	777	654	198	7,695

1日の内で9時・10時便の利用が多いが、買い物や通院などで外出する時間帯に集中しているため、午後になると15時便を中心に利用が多く、帰りの時間が同時間帯となっていることが伺えます。

【降車場所件数比較（自宅除く）】



【H28.4～7月 降車場所件数】

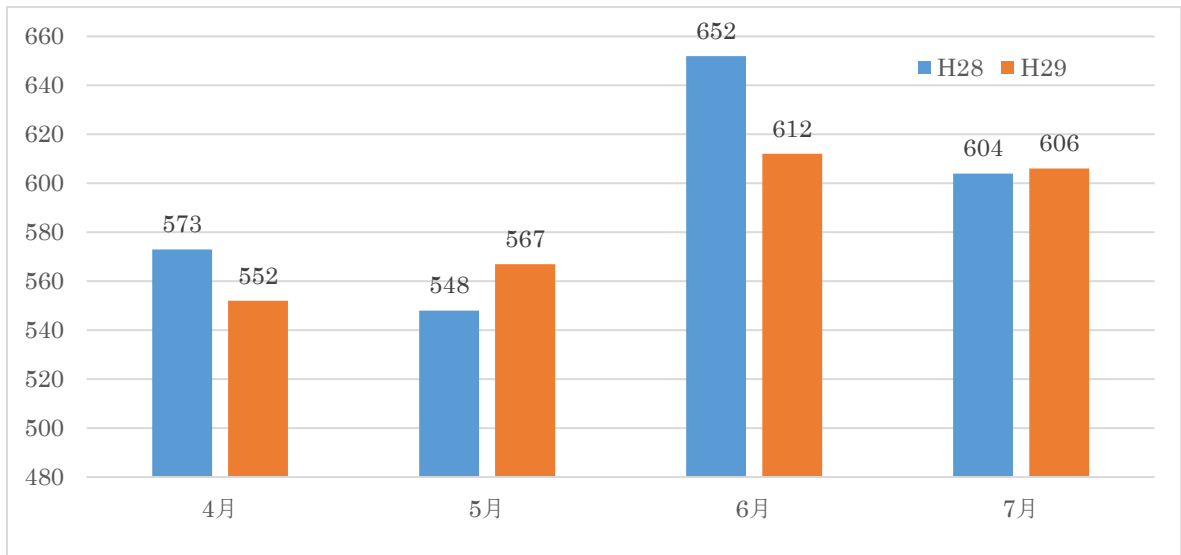
1位	自治医科大学付属病院
2位	下野市役所
3位	仁良川コミュニティーセンター
4位	ゆうゆう館

【H29.4～7月 降車場所件数上位】

1位	下野市役所
2位	自治医科大学付属病院
3位	ゆうゆう館
4位	石橋総合病院

医療機関で降車する人が最も多く、自治医科大学付属病院と石橋総合病院は降車場所件数上位に入っています。その他は主に斎場や寺社、霊園等の利用がありました。前年度と比較すると公共施設と医療機関の利用が減少しています。

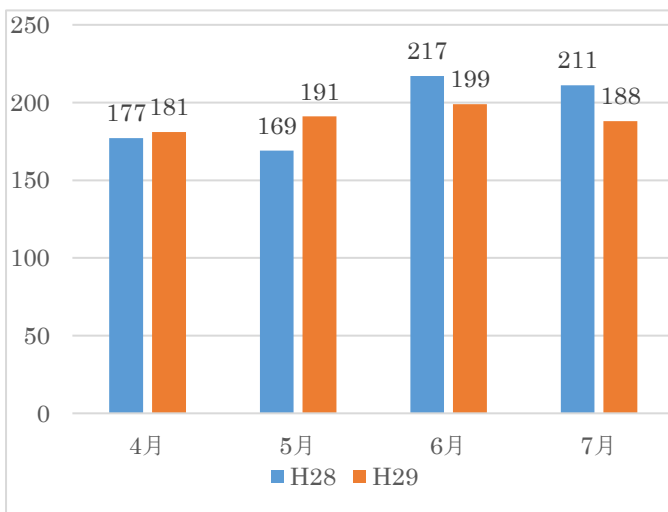
【月別運行便数】



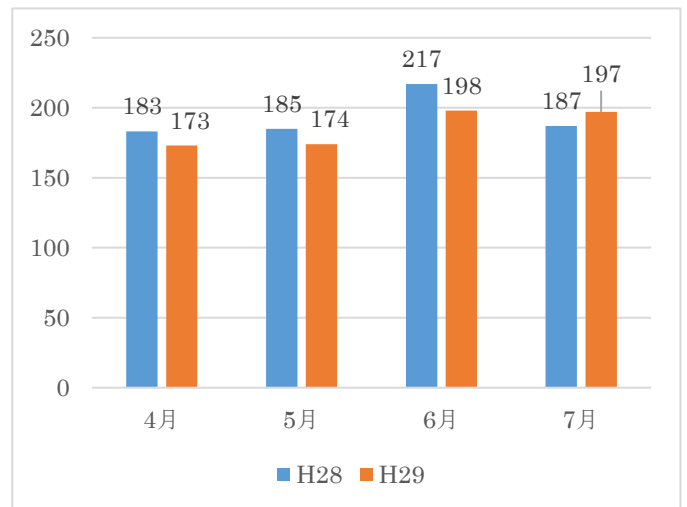
運行便数は4月が最も少なく、月を追うごとに増えています。4月6月は前年度より少ないですが、5月は多く、7月は同じくらいでした。合計便数は前年度より40便減少しています。

【エリア別運行便数】

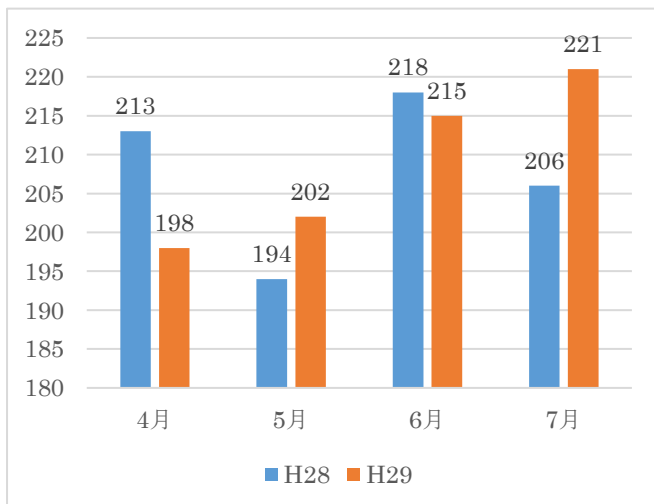
【石橋】



【国分寺】



【南河内】



エリア別の運行便数を見ると、石橋・国分寺は月ごとに多少の増減はあるもののほぼ同じと言えます。南河内エリアのみ、4月から右肩上がりに運行便数が増えています。

【1 便当たりの乗車人数】

【石橋】

	4月	5月	6月	7月
平成28年度	3.1人	2.8人	2.9人	3.1人
平成29年度	3.2人	2.8人	2.8人	2.6人

【国分寺】

	4月	5月	6月	7月
平成28年度	3.0人	2.6人	2.9人	3.5人
平成29年度	2.9人	3.1人	3.0人	3.1人

【南河内】

	4月	5月	6月	7月
平成28年度	5.3人	4.9人	4.5人	4.5人
平成29年度	3.6人	4.0人	4.0人	4.2人

【全体】

	4月	5月	6月	7月
平成28年度	3.8人	3.6人	3.4人	3.6人
平成29年度	3.3人	3.3人	3.3人	3.3人